(議事の要旨)

開始 14時01分

[西田委員長]

ただいまから、平成28年度第12回教育委員会定例会を開会いたします。

本日の会議録署名は、高木委員にお願いいたします。

本日の案件は、追加案件も含めまして、議案9件です。

なお、議案第60号及び議案第61号は公開しない会議とし、会議の最後に審議したいと思いますが、よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

[西田委員長]

異議なしと認め、議案第60号及び議案第61号は、会議規則第12条の規定により公開しない会議として、会議の最後に審議します。

[西田委員長]

それでは、議事に入ります。

議案第53号・第2次日野市学校教育基本構想及び日野市生涯学習推進基本構想・基本計画に基づく平成29年度の主要な取り組みの策定について、事務局より提案理由の説明をお願いします。

○議案第53号 第2次日野市学校教育基本構想及び日野市生涯学習推進基本構想・基本計画に基づく平成29年度の主要な取り組みの策定について

[兼子庶務課長]

議案第53号・第2次日野市学校教育基本構想及び日野市生涯学習推進基本構想・基本計画に基づく平成29年度の主要な取り組みの策定について、ご説明申し上げます。

提案理由です。第2次日野市学校教育基本構想及び日野市生涯学習推進基本構想・基本計画に基づき、平成29年度の主要な取り組みを策定するものでございます。

3ページをご覧ください。

日野市教育委員会教育目標に基づき、平成29年度の主要な取り組みを定めるものでございます。

第2次日野市学校教育基本構想の基本方針の一つ目、かかわりの中で知恵を出し合い、自立・協働・創造に向けた「21世紀を切りひらく力」を豊かに育むこと、4ページは、質の高い教育環境を整え、「次代をつくる特色ある学校づくり」に取り組むこと、5ページは、人が豊かに生きるために体験を充実させ、学校、家庭、地域・社会が一体となった「つながりによる教育」を推進すること、この三つの基本方針のもとに、それぞれ四つの柱があります。その柱をもとに、それぞれのページの下に記載してあります事業を展開していくものでございます。

学校教育部門については、以上でございます。

[木村生涯学習課長]

生涯学習部門の主要な取り組みについて、ご説明いたします。

6 ページをお開きください。

生涯学習部門の主要な取り組み（平成29年度）でございます。

日野市生涯学習推進基本構想・基本計画に沿った形で分類をさせていただいております。6 ページから7 ページにかけて、この計画の中で視点を三つ、学ぶ、つながる、行動する、ということで分けておりますので、この分類により取り組みを記載したものでございます。それぞれ生涯学習課、中央公民館、図書館、郷土資料館の事業を項目ごとに記載させていただいております。★の項目については重点取組となっております。

説明については以上でございます。よろしくご審議のほど、お願いいたします。

[西田委員長]

事務局からの説明が終了しました。ご質問がございましたら、お願いいたします。高木委員。

[高木委員]

学校教育部門でいきますと、第2次日野市学校教育基本構想に基づいて、3年目の取り組みになると思いますが、29年度については、各基本方針の上に「世の中と結びつきながら」というサブタイトルを設けながら、取り組み全体が非常にわかりやすく整理されていると感じます。

また、一方ではサブタイトルの中にありますように、非常に今日的な問題も抱えていますので、その辺の取り組みを踏み込んでいきたい、焦点化していきたいという意欲も感じています。教育委員会の中でも学校現場での教育方法について、結構熱い論議もあるので、すけれども、世の中の結びつきというものを考えたときに、やはり地域ですとか家庭の保護者の皆さんに、この学校部門の主要な取り組みについて、どのように理解し協力を得ながら、また、ここにもありますように、参加あるいは知恵を出していただくかということも、3年目ともなってくると結構、大きなウエートを占めてくると思うのですが、その辺の進め方、取り組みについて、現時点で考え方があれば、伺いたいと思っています。よろしく申し上げます。

[記野教育部参事]

第2次日野市学校教育基本構想が3年目ということで、また来年度からの新たな取り組み、事業の進め方ということで、ご質問いただきました。

今回のこの主要な取り組みの、委員からも今お話がありましたように、一番上に「世の中と結びつきながら」という大きな項目で二つの大きなテーマを設けました。

読ませていただきます。「いのち」を感じ “いのち”を伝え合い 生きるよろこび あふれる明日へ」ということと「みなに参加し ともに知恵を出し合い 新たな創造へ」と、この大きな2本の柱、特に左側に示させていただいたことに関しては、いかにこれから命ということのテーマに、先ほどありましたように、学校だけではなく、地域、保護者ともに考え、そして子供たちがどのように生きる喜びを育てて明るい未来に向かって出発できるかということでもあります。

その中でも5 ページ、基本方針3に示させていただきました(5) P T A活動への支援・協働ということの③に、「いのちのプロジェクトの実施」ということで、来年度の主要な取り組みということで掲げさせていただきました。

こちらは保護者、PTAの代表と学校、小学校・中学校の校長の代表と、そして私たち事務局の代表ということで、4人でプロジェクトを今後——今のところ考えているところは月1回程度——皆さんで議論を重ね、子供たちの命をどのように育み守り、そして力強く生きていくことができるかということ、具体的な方策を皆さんでディスカッションしながらやっつけていこう、という取り組みでございます。

また、右側の「みなが参加し ともに知恵を出し合い 新たな創造へ」という部分に関しては、今まで日野市が取り組んできた、ひのスタンダード等を基盤にしながら、この基本方針1(1)で示させていただきました「学ぶ力プロジェクトの推進」、これを重点取組としてさらに進め、来年度は3年目を迎えるということで、実践それからカリキュラムマネジメントということで、いかに中学校の9年間を見通したカリキュラムを組んでいくかということに取り組みを進めて、子供たちの学びを支えるということについて、この2本のテーマを学校教育部門の主要な取り組みと考えさせていただきました。

[米田教育長]

併せて、高木委員からお話をいただいたことが今、私たちが一番大事にしようとしているところです。学校の教育活動を学校の中で営んでいく、編成していくということを一歩進めよう。家庭と一緒に地域と一緒に学校教育活動を、みんなで豊かに創造していこうということです。

命ということについても、学校の活動と家庭の活動と地域の活動と、一体的に子供たちを包み込むようにして進めていこう。それから、学校のカリキュラムをつくる時も、地域のいろいろな知恵をいただきながら、地域のリアリティをいただきながら、その学びを本当に子供たちが「もっと学びたい」という、そのような力が湧き出てくるような、学習活動をしていきたいと思っております。

また、例えば市P協という、それから、いろいろな地域の方が集まっているところにも私たち出向いて、今、我々の学びは皆さんと一緒につくっていききたいということをしかりと話をしながら、一歩一歩進めていきたいと考えております。

[西田委員長]

高木委員。

[高木委員]

ありがとうございました。第2次日野市学校教育基本構想そのものが、今までの学校教育というと、ともすると学校の先生が主体的になって、任せておけばよいと、家庭の親自身も、そのように思いがちであった傾向がなきにしもあらずの中で、非常にオープンな形で学校教育を進めよう。今も教育長からございましたけれども、家庭、地域を含めて進めるということで来たわけですが、やはり昨今の世の中と言いますか、起きている事象を見ますと、子供たちが社会、世間の荒波にさらされているということを非常に感ずるわけです。

いろいろな、いじめの問題ですとか貧困の問題とか含めて、子供たちが直撃を受けていますので、そのことについては社会と一緒に解決をしていかなければいけないというスタンスが非常に重要だと思いますので、今回のこのまとめというのは、その意味では非常にまた、より一歩進んだような形で、ステップアップしたような形で整理がされてい

ますので、是非その辺の認識を持ちながら、また皆さんとよく意見交換をしながら進めていきたいと考えていますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

[西田委員長]

岡本委員。

[岡本委員]

質問というより、今までの議論の感想と今後について、一言申し上げたいと思ひます。

まず、はじめに教育委員の中でも随分議論しまして、このようにまとめていただいた事務方のご苦勞に大変感謝申し上げます。先ほど教育長からもお話がありましたように、地域のリアリティを的確につかむ、そして、それを子供さんによく理解していただくということですので、私たちが今後しなければいけないことが、二つあると思ひます。

まず、一つは市民の皆さんに、このことをよく理解していただかなければならないと思ひます。それと同時に、一番大事な学校現場の先生方のご努力——もちろん我々も支援をして——大変だと思ひますけれども、この二つの観点から、今後、具体的にどのようなことをしていけば、皆さんが今おっしゃっていたようなことを、よりよくできるか。まだ、これからのことも、たくさんあるかと思ひますけれども、その辺をお話いただければと思ひます。

[米田教育長]

まず、幼小研、中教研のオープニングが5月にありますので、もう一度改めて全教員と一緒に共有したいと思ひています。

それから、市P協からリクエストをいただいて、今、学校現場で一番力を注いでいることをプレゼンしてもらえないか、というオファーが昨年6月にあつて、2時間ほど時間をもらつて、昨年9月でしたか、やりました。そのようなものをいただいていますので、そこでもと思ひます。6月の総会の際にちょっとでもできればと思ひていますが、いずれにしても具体的に動きたいと思ひます。

[西田委員長]

ほかにご質問はございませんか。

[西田委員長]

なければ、ご意見を伺ひます。濱屋委員。

[濱屋委員]

生涯学習の説明の中で、学ぶ、つながる、行動する、という三つの視点を説明くださいましたが、これが一つのキーワードになっているのではないかと、そして、この言葉が「学ぶカプロジェクトの推進」の中にある「学びの循環」につながっていると思ひます。これを、これからいかに、いろいろな形で循環させていくことができるかということが、課題ではないかと感じています。

先日、学ぶカプロジェクトの発表会に出たときに、関わった先生方が発表の中で、この研究会の中で学んできたことを、先生方全体の研修会の中でお話ししたいとおっしゃっていました。学ぶために対象に出会つて、何かに疑問を感じ、それを自分なりに明らかにしていくことによって、あるいはともに友達と学びながら、また新たな疑問が湧いてくると思ひますけれども、それに向き合っていくような学びの仕方を、これからもつくっていた

だけたらよいかと思います。その具体的な内容を、これからさらに学校の先生方とも話し合っていけるとよいのではないかと感じました。

[西田委員長]

高木委員。

[高木委員]

学校教育部門と生涯学習部門、来年度の主要な取り組みについて、非常にうまく整理をしていただいたということ強く感じています。決して昨年までが、わかりにくいということではなかったのですけれども、何をしなければいけないのか、あるいは重点なのかということが、うまく整理ができたということで、大変ご苦労いただきましたけれども、そのように強く感じています。

ですから、これから今後の進捗ですとか、また次年度に向けて課題や問題の整理ということで、うまく活用できるのではないかと思いますし、一段と日野の教育行政がステップアップしていくのではないかと期待していきたいと思います。

[西田委員長]

岡本委員。

[岡本委員]

具体的な話ですけれども、昨年度もいろいろ先生方の研究発表会とか研修会等に出ささせていただきました。私の感じですが、過去数年と比べて随分活発というか、非常に充実してきているのではないかと思います。

と申しますのは、私よく申し上げていましたけれども、研究発表会というのは一般社会でもあると思いますけれども、相当の激論というか、いろいろな議論をされていると思います。もちろん教育の現場ですから、そのような方向とは違うかもしれませんが、しかし最近、ワークショップ等を取り入れて、学校現場の生の先生方の日常、どこら辺で非常に苦労されているのか、それと、例えば大学の先生方がおっしゃる教育論というか、そのようなものと、どのような関係をしているのか。あるいは、それに対して自分はどういう考え方があるかということを知るようなケースが、私は随分増えたと思っておりますので是非、今年29年度、研修会、研究発表会もですけれども、充実するように支援をしていただきたいと思います。

[西田委員長]

たくさんのご意見ありがとうございました。大変よく検討、整理された29年度に向けての主要な取り組みという、ご意見をいただきました。

ほかにご意見はございませんか。

[西田委員長]

なければ、ご質問、ご意見はこれにて終結いたします。

お諮りします。第2次日野市学校教育基本構想及び日野市生涯学習推進基本構想・基本計画に基づく平成29年度の主要な取り組みの策定について、を原案のとおり決することに異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

[西田委員長]

異議なしと認めます。議案第53号は原案のとおり可決されました。

[西田委員長]

議案第54号・第4次日野市特別支援教育推進計画の策定について、事務局より提案理由の説明をお願いします。

○議案第54号 第4次日野市特別支援教育推進計画の策定について

[横井教育支援課長]

議案第54号・第4次日野市特別支援教育推進計画の策定について、ご説明申し上げます。

第4次日野市特別支援教育推進計画を次のように策定するものでございます。

提案理由でございます。これまで平成28年度までを計画期間とする第3次日野市特別支援教育推進計画により、各種特別支援教育の事業を進めてまいりました。来年度以降、日野市の特別支援教育をさらに推進するために、平成29年度から平成31年度を計画期間とする、第4次日野市特別支援教育推進計画を策定するものでございます。

この計画の策定に当たっては、第4次日野市特別支援教育推進計画策定委員会を設置して、学識経験者2名、市民2名、特別支援学校と小・中学校の校長3名を含む13名の委員による延べ4回の策定委員会、パブリックコメントのご意見などを踏まえて策定したものでございます。また、特別支援学級の固定学級、特別支援教室、情緒障害等通級指導学級に在籍する保護者の方を対象としたアンケート調査を行い、アンケート結果を踏まえて計画を策定してございます。

1枚めくっていただいて、目次をご覧くださいと思います。

この計画は、第1章から第5章までの構成になってございます。第1章で計画の概要、第2章で推進計画の基本理念と推進目標、第3章で日野市における特別支援教育の現状と課題、第4章として、この計画の主要部分となる、日野市の特別支援教育推進に向けた具体的な施策、第5章として計画の進行管理となっております。

2ページ、第1章、計画の概要をご覧ください。

計画策定に当たっての趣旨でございます。平成18年度に日野市特別支援教育推進計画、平成23年度に第2次日野市特別支援教育推進計画を策定し、平成25年度には第3次日野市特別支援教育推進計画を策定、平成28年度までを計画期間として推進してまいりました。今後もさらに特別支援教育を推進する必要性があることから、平成29年度から平成31年度までの3年間に取り組む施策等について、今回、第4次日野市特別支援教育推進計画としてまとめてございます。

4ページをご覧ください。

第2章、推進計画の基本理念と推進目標でございます。

基本理念につきましては、第3次日野市特別支援教育推進計画と同様の趣旨となっております。推進目標としましては、四つの項目を掲げてございます。この項目にかかわる具体的な施策につきましては、後ほど第4章のところでご説明をさせていただきたいと思います。

5 ページをご覧ください。

第3章、日野市における特別支援教育の現状と課題です。

こちらは、さきに策定しました第3次までの推進計画により進めてまいりました各種事業の取組状況を、ページといたしましては15ページまで、また、特別支援学級の現状と推移を16ページから23ページまで、保護者アンケートの結果を24ページから29ページまで、特別支援教育の課題を30ページから33ページまで記載してございます。

34ページをご覧ください。

34ページから40ページまでは、第4章、日野市の特別支援教育推進に向けた具体的な施策です。

先ほど第2章に掲げました推進目標の各項目につきまして、それぞれ具体的な施策として記載してございます。その中で重点施策として五つの施策を掲げてございます。

まず34ページ、推進目標1、幼児期から学校卒業後まで、かしのきシートを活用した切れ目のない相談・支援体制を、市全体で構築するため、三つの施策を記載してございます。

ここでは(2) エールを中心にした関係機関との連携支援体制の拡充、(3)「かしのきシート」による支援情報の共有と活用、を重点施策としてございます。いずれの施策も教育と福祉、エールと関係機関との連携を掲げており、かしのきシートをツールとして活用し、市全体で切れ目のない支援体制の構築を進めることとしてございます。

35ページ、推進目標2、全ての学校、教室において、子供の特性への理解を図るとともに特別支援教育の視点を生かした質の高い教育を行うため、四つの施策を掲げてございます。

ここでは(1) 教員の理解並びに指導力向上に向けた取組の推進、を重点施策としてございます。いずれの施策も、子供の特性の理解、教員の指導力向上などにより学校の支援体制の充実を進めることとしてございます。

37ページ、推進目標3、一人一人の子供が安心して豊かに学べる教育環境を整備し、新たな特別支援教育推進体制を構築するため、四つの施策を掲げてございます。

特に(1) 小学校における特別支援教室(ステップ教室)の導入、(2) 中学校における特別支援教室(ステップ教室)の導入、を重点施策としてございます。ここでは、新たな制度である特別支援教室の整備をはじめとした各種教育環境の整備を推進することとしております。また、中学校における特別支援教室の導入につきましては、東京都のモデル事業としていち早く実施をすることにより、その効果や課題を検証することとしてございます。

39ページをご覧ください。

推進目標4、家庭や地域との連携を一層進め、共生社会の実現を目指すため、四つの施策を記載してございます。

ここでは、幅広い範囲を対象に様々な手法で共生社会の理解・啓発を推進することにより、共生社会の実現を目指すこととしてございます。

41ページをご覧ください。

最後に、第5章として、計画の進行管理(推進体制)でございます。

計画の進行管理につきましては、平成29年度以降に特別支援教育推進委員会を設置して、計画各施策の進捗状況の把握とともに、今後の日野市の特別支援教育についても検討してまいります。

全体を通して、障害者権利条約を批准、障害者差別解消法が制定された昨今の状況を鑑みて、障害者の人権を尊重するという意味合いからも、今後将来を見据えて障害を特性と表現するほうがよいという意見が委員会の中でございました。委員全員の同意を得た形で、国、東京都等で規定されている障害、固有名詞的なものを除きまして、極力、特性という言葉を使用するように努めてまいります。

以上、日野市の特別支援教育をさらに推進するため、第4次日野市特別支援教育推進計画を策定するものでございます。

簡単ではございますが、説明は以上とさせていただきたいと思っております。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

[西田委員長]

事務局からの説明が終了しました。ご質問がございましたら、よろしくお願いいたします。高木委員。

[高木委員]

今回の推進計画は、推進計画の委員の皆様のご尽力等によりまして、非常によいものができているということを感じました。今も説明がございましたけれども、用語の使い方についても、先進的な知見に基づいて整理をいただいたということで、妥当ということ強く感じている次第です。

その中で1点、5章にあります計画の進行管理で今後、特別支援教育推進委員会を設置し、と謳われているわけですけれども、その設置の目安ですとか運営方法等々について、現時点での計画がございましたら、お伺いしたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

[横井教育支援課長]

今、ご質問いただきました特別支援教育推進委員会の計画でございます。平成29年度は3回もしくは4回の委員会の開催を予定してございます。そちらにつきましては、今回の策定委員会では市民委員の方も入っていただくような形ではございましたが、市民委員の方は今回はない形ではございますが、学識経験者もしくは現場の特別支援学校、小・中学校の校長先生等、今回の策定委員会に近いような委員構成の形を整えまして、特別支援教育、現場に携わっている方も含めまして、年に3回もしくは4回の委員会を開催して、現状把握、進行管理までしていきたいと考えてございます。

[西田委員長]

ほかにご質問はございませんか。

[西田委員長]

なければ、ご意見を伺います。岡本委員。

[岡本委員]

先般、文科省の教育委員の研修会に出させていただきましたけれども、そのときに他都市からも、日野市の特別支援の動きとか、具体的なやり方について非常に着目していると、

どちらかと言うとすばらしい——手前味噌かもしれませんが——というような観点からのご発言だったと思います。確かに全国から先生方が、日野市に訪問をされて現場を見られるというようなことも多々ありますし、もちろん市民の方も一番ご存知なわけですが、先ほど、お話があったように、例えば障害から特性というような、単なる言葉の定義の変更ではなくして、流れとしても大きなターニングポイントだと思いますので、例えば「広報ひの」に特集くらい組んでいただいて、大いに日野市民の方にも理解をしていただいて、一般によく知っていただくということが、よいのではないかと思います。

[西田委員長]

濱屋委員。

[濱屋委員]

お話を聞いて、二つ大事な言葉があると思いました。

一つは共生社会の実現です。

もう一つは、やはり子供の特性の理解を図ることだと思いました。この推進目標の2番目のところに、特性への理解や合理的配慮への対応などについて、学校や教員の意識啓発を図ります、ということがありますが、特性に応じた配慮というのが何かというのは、個によって違うと思うのです。ですから、そこには、どのような配慮をすればよいかということについて、先生方の迷いとかもあると思いますので、それがどのようなものなのかということを広く情報収集して、データを集めて、国にはデータベースみたいなものもありますので、そのようなものも利用しながら、個に応じたどのような変更、及び調整が必要なのかということ、これから具体的な例を積み上げていっていただきたいと、そのように感じました。

[西田委員長]

米田教育長。

[米田教育長]

そこが一番大切なことだと思います。人それぞれ、すべての人に学び方には特性があるということです。学び方が違うということです。それぞれに合わせた支援の方法があるということです。自分の力で越えられる人もいれば、働きかけ、支援が必要な人もいます。それを今、実践の中で積み重ねているものを、どのように見える化するかが、みんなで共有して、これを具体的にもっともっと広めていくということだと思います。文科省の委託事業等も活用して、一步一步進めていきたいと思いますので、さらに努力したいと思います。

[西田委員長]

ほかにご意見はございませんか。

[西田委員長]

なければ、ご質問、ご意見はこれにて終結いたします。

お諮りします。第4次日野市特別支援教育推進計画の策定について、を原案のとおり決することに異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

[西田委員長]

異議なしと認めます。議案第54号は原案のとおり可決されました。

[西田委員長]

議案第55号・日野市立学校教科用図書採択要綱の制定について、事務局より提案理由の説明をお願いします。

○議案第55号 日野市立学校教科用図書採択要綱の制定について

[記野教育部参事]

議案第55号・日野市立学校教科用図書採択要綱の制定について、でございます。

提案理由についてでございます。平成29年度日野市立学校教科用図書の採択にあたって要綱を制定するものでございます。

議案書の12ページをお開きください。

本要綱につきましては、教科用図書の採択という重要な事務手続を定める要綱でございますので、教育委員会にお諮りさせていただくものでございます。

今回採択される教科用図書は、一部改正された学習指導要領のもと、新たに文部科学大臣の検定を経た教科用図書で、小学校で平成30年度から使用することとなります。

それでは、要綱の条文に沿ってご説明いたします。

12ページの第1条は本要綱の目的でございます。

第2条は、採択を行う教科用図書についてです。

採択を行う教科用図書は、文部科学大臣の検定を経た教科用図書の中から採択するものです。採択を行う教科用図書は、議案書の15ページの別表第1にありますように、小学校1種目「特別の教科 道徳」についてでございます。

続きまして12ページにお戻りいただきまして、第3条、採択の時期でございます。

教科用図書の採択は、その年度の8月31日までとする規定です。教科用図書の採択につきましては、8月の教育委員会で採択していただくよう、事務手続を進めてまいりたいと考えております。

次に、第4条、第5条、第6条についてです。

採択に関する組織として、審議会、教科委員会を設けること。また、組織の委員構成等について定めたものです。審議会の委員につきましては、15ページの別表第3のとおり、委員12名の構成となります。また、別表第3の下段の2にありますように、保護者の選任に当たりましては、より広い視野を持ったPTAの代表から選任としたいと考えております。また、その下3にありますように、今回の採択の際には中学校の保護者に2名入っていただくことで、小中の一貫性の視点からもご意見をいただき、検討、審議を深めたいと考えております。

次に13ページにお戻りいただきまして第7条でございます。

審議会の任務として、教育委員会に答申するまでの審議会、教科委員会、学校における任務について規定したものでございます。

続いて14ページ、第8条、委員資格についてです。

各号のいずれかに該当する者は、委員に就任することができないという規定です。

次の第9条に採択結果等の公表、公開、第10条には守秘義務が規定されております。付則についてでございます。この要綱は、平成29年4月1日から施行し、平成29年8月31日限りで、その効力を失うものでございます。

説明は以上でございます。よろしくご審議のほど、お願い申し上げます。

[西田委員長]

事務局からの説明が終了しました。ご質問がございましたら、お願いいたします。

[西田委員長]

なければ、ご意見を伺います。

[西田委員長]

なければ、ご質問、ご意見はこれにて終結いたします。

お諮りします。日野市立学校教科用図書採択要綱の制定について、を原案のとおり決することに異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

[西田委員長]

異議なしと認めます。議案第55号は原案のとおり可決されました。

[西田委員長]

議案第56号・日野市要保護及び準要保護児童生徒援助費支給要綱の一部を改正する要綱の制定について、事務局より提案理由の説明をお願いします。

○議案第56号 日野市要保護及び準要保護児童生徒援助費支給要綱の一部を改正する要綱の制定について

[兼子庶務課長]

議案第56号・日野市要保護及び準要保護児童生徒援助費支給要綱の一部を改正する要綱の制定について、ご説明申し上げます。

提案理由です。経済的理由により、就学が困難と認められる学齢児童・生徒の保護者に対して支給する要保護及び準要保護児童生徒援助費の充実を図るため、要綱の一部を改正するものでございます。

今回の主な変更点は、申請時に源泉徴収票などの添付書類の提出をなくし、教育委員会が市民税の所得情報を確認すること、そして新入学学用品費を入学前に支給すること、という2点でございます。

それでは新旧対照表でご説明申し上げます。21ページをご覧ください。

下線部分が改正部分となります。

第1条と第2条は、入学前に支給する対象を定めるための改正となります。

第3条の支給費目ですが、22ページをご覧ください。

第1項の(10)は、新入学学用品費の入学前支給の品目を新たに追加するものでございます。

第3条、第3・第4項は、入学前支給を規定すること。そして入学前支給の判定は、前々年度の所得情報になるのに対し、入学後の支給の場合は前年の所得で判定することになる

ため、翌年に収入が基準内に減少した場合でも支給できるよう規定したものでございます。なお、入学前支給を受けた場合は支給いたしません。

第5条は、申請時に源泉徴収票等の添付書類をなくすための改正でございます。

また、23ページから25ページまで、支給金額を別表として追加で掲載したものでございます。なお、新入学学用品費の金額についてですが、国の基準が上がりましたので、日野市もその基準に合わせた金額を掲載し、支給する予定でございます。

説明は以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願い申し上げます。

[西田委員長]

事務局からの説明が終了しました。ご質問がございましたら、お願いいたします。高木委員。

[高木委員]

現状の援助費等も含めて、状況について説明をしていただきたいと思いますので、第3条関係での別表で実費額となっているものの金額、これは市内の平均でも結構ですけれども、実費額ですとか、対象者の人数、それから全体としてどれくらいの費用がかかっているか等について、ご説明いただければと思います。

[兼子庶務課長]

それでは順を追って表の上からご説明申し上げます。

まず学校給食費です。給食費については単価が、小学校低学年1・2年生が月額4,000円、3・4年生が4,350円、高学年5・6年生ですが4,700円、中学校が5,350円となっております。対象人数ですが、小学校、これは延べ人数になります、11,291名、金額にして年間4,900万円程度になります。中学校です、7,340名、およそ3,900万円となっております。

校外活動費になります。まず小学校の一人当たりの校外活動費が2,228円、中学校が2,838円。小学校対象人数1,084名、金額にして256万円余りとなります。中学校対象人数358名、合計金額で126万円余りとなっております。

次に移動教室費になります。小学校一人平均5,326円、対象人数は189名、総額として100万6千円余り。中学校はスキー教室になります、一人当たり46,188円、対象人数217名、総額1,002万2千円余りになります。

修学旅行費になります。小学校修学旅行一人当たり27,468円、対象人数217名、金額にして596万円余り。中学校になります、一人当たり56,486円、対象者数243名、総額で1,372万円余りとなっております。

中学の体育実技用具費になりますが、対象人数が122名で46万1,600円となっております。

この就学援助の総額になりますが、27年決算値ですが、1億7,100万円余りという状況でございます。

[西田委員長]

ほかにご質問はございませんか。

[西田委員長]

なければ、ご意見を伺います。

[西田委員長]

なければ、ご質問、ご意見はこれにて終結いたします。

お諮りします。日野市要保護及び準要保護児童生徒援助費支給要綱の一部を改正する要綱の制定について、を原案のとおり決することに異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

[西田委員長]

異議なしと認めます。議案第56号は原案のとおり可決されました。

[西田委員長]

議案第57号・日野市立学校職員服務規程の一部を改正する規則の制定について、事務局より提案理由の説明をお願いします。

○議案第57号 日野市立学校職員服務規程の一部を改正する規則の制定について

[加藤学校課長]

議案第57号・日野市立学校職員服務規程の一部を改正する規則の制定について、ご説明申し上げます。

議案書の27ページをご覧ください。

はじめに提案理由でございます。こちらは「雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律」及び「育児休業、介護休暇等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律」の改正に伴い、規程の一部を改正するものでございます。

恐れ入りますが、議案書29ページをお開きください。

新旧対照表でご説明させていただきます。

今回の改正は、妊娠、出産、育児又は介護に関するハラスメントの禁止を規定するためのものでございます。

はじめに第8条の2の2として、職員は、妊娠又は出産に関して、妊娠又は出産した女性職員の勤務環境を害する言動を行ってはならない。

その下でございます。第8条の2の2第2項として、職員は、他の職員が妊娠、出産、育児又は介護に関する制度を利用すること又は措置を受けることに関して当該職員の勤務環境を害する言動を行ってはならない、とする条項を追加するものでございます。

議案書の28ページになります。

付則でございます。本規則は、公布の日から施行するものでございます。

説明は以上でございます。よろしくご審議のほど、お願い申し上げます。

[西田委員長]

事務局からの説明が終了しました。ご質問がございましたら、お願いいたします。

[西田委員長]

なければ、ご意見を伺います。

[西田委員長]

なければ、ご質問、ご意見はこれにて終結いたします。

お諮りします。日野市立学校職員服務規程の一部を改正する規則の制定について、を原

案のとおり決することに異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

[西田委員長]

異議なしと認めます。議案第57号は原案のとおり可決されました。

[西田委員長]

議案第58号・東光寺小学校学校運営協議会委員の任命について、事務局より提案理由の説明をお願いします。

○議案第58号 東光寺小学校学校運営協議会委員の任命について

[加藤学校課長]

議案書の31ページになります。

議案第58号・東光寺小学校学校運営協議会委員の任命について、ご説明申し上げます。

はじめに提案理由でございます。東光寺小学校学校運営協議会委員の任期が平成29年3月31日をもって終了するため、日野市学校運営協議会規則第7条第1項の規定に基づき、任命をするものでございます。

次のページ、32ページをご覧ください。

今回任命させていただきます16名の委員の名簿でございます。

名簿、左から氏名、住所。また備考欄には規則第7条で規定する保護者、地域住民などの選出の理由が記載されております。また、一番右側は、今回の任命により委員の方が何期目の任命になるのかを記載したものでございます。

最後に、任期につきましては、平成29年4月1日から平成31年3月31日までの2年間でございます。

説明は以上でございます。よろしくご審議のほど、お願い申し上げます。

[西田委員長]

事務局からの説明が終了しました。ご質問がございましたら、お願いいたします。岡本委員。

[岡本委員]

日野市は東光寺を含めて2校が学校運営協議会を設置しておりますけれども、今後のコミュニティスクールの流れと言いましょいか、方向を考えて、現在、東光寺小学校の運営協議会でやっておりますテーマと、そしてまた、それについてどのような議論があって、解決策ではないですけれども、どのようにしましよかというようなことを、差し支えなければの範囲で結構ですけれども、参考までにお尋ねしたいと思います。よろしく申し上げます。

[加藤学校課長]

テーマといたしましては、地域ということになるかと思えます。東光寺小学校の例で言いますと、地域での見守り活動であるとか、地域に根差した郷土学習、かるたを通しての郷土学習等、行われております。また平成28年度は、地域の避難所としての開設準備、会員の中心的な役割を担っているということでございます。

また、会の中で話し合われている内容といたしまして、今後の課題としては、子供たちの放課後や土曜日、夏休みなどの居場所づくり、また、家庭の教育力の低下などについて、地域ぐるみで子育てに取り組む必要があるとして、協議会の中で話し合いがされているところでございます。

[西田委員長]

ほかにご質問はございませんか。

[西田委員長]

なければ、ご意見を伺います。

[西田委員長]

なければ、ご質問、ご意見はこれにて終結いたします。

お諮りします。東光寺小学校学校運営協議会委員の任命について、を原案のとおり決することに異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

[西田委員長]

異議なしと認めます。議案第58号は原案のとおり可決されました。

[西田委員長]

議案第59号・日野市立教育センター所長の任命について、事務局より提案理由の説明をお願いします。

○議案第59号 日野市立教育センター所長の任命について

[阿井教育センター事務長]

議案第59号・日野市立教育センター所長の任命について、ご説明申し上げます。

提案理由でございます。日野市立教育センター所長の任期が平成29年3月31日をもって終了するため、新たに任命するものでございます。

36ページをお開きください。

氏名、住所につきましては、記載のとおりでございます。

任期です。平成29年4月1日から平成30年3月31日まででございます。

以上でございます。よろしくご審議のほど、お願いいたします。

[西田委員長]

事務局からの説明が終了しました。ご質問がございましたら、お願いいたします。

[西田委員長]

なければ、ご意見を伺います。

[西田委員長]

なければ、ご質問、ご意見はこれにて終結いたします。

お諮りします。日野市立教育センター所長の任命について、を原案のとおり決することに異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

[西田委員長]

異議なしと認めます。議案第59号は原案のとおり可決されました。

[西田委員長]

これより議案第60号及び議案第61号の審議に入りますが、これらの案件につきましては公開しない会議といたしますので、関係職員以外の事務局説明員は退席しても差し支えないと思います。異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

[西田委員長]

異議なしと認めます。関係職員以外の事務局説明員は退席してください。なお、本件の終了をもって、平成28年度第12回教育委員会定例会を閉会といたします。

(関係職員以外退室)

「教育職員の内申の専決処分について」

「教育委員会職員の分限休職の専決処分について」

は公開しない会議の中で審議。

[西田委員長]

以上をもちまして、本日の案件はすべて終了いたしました。これにて平成28年度第12回教育委員会定例会を閉会いたします。

閉会 15時04分